キッズみんなの日記

7月号

梅雨が明けるころには、いよいよ楽しい夏休みもやってきますね。今年の夏休みはどう過ごしますか。

夏休みといえば、読書感想文。ところが、現在は、どの小学校でも読書感想文は必修ではなく、自由課題の一つだとか……。そこで、学校の読書感想文ほど堅苦しいものでなくてもよいので、七月・八月は**伊藤先生のおすすめ本**を読んで、日記に感想文を書いてみませんか。夏休みに入れば時間もたっぷりあります。同じ題材にそれぞれがどんな感想を持つのかもとても興味深いですね。いつも題材選びに苦労している塾生も少なくないようですから、題材の一つになれば良いですね。夏期講習中も週一回は日記の提出を忘れずに！

優秀作品紹介

★初級者（一・二年生）の部★

プール

きょうプールにはいりました。プールにはいったらつめたかったのでふるえました。でも、とってもたのしかったです。（小一・HH君）

小学校に入学して三ヶ月、あっという間にカタカナも上手に使いこなしていますね。水の冷たさも「ふるえました」と自分の体の状態を使って上手に表現できました！

★★中級者（三・四年生）の部★★

テントウムシ

今日は、学校でテントウムシを探しました。僕は、ハルジオンの花にテントウムシがいないか探しました。そこには、ナミテントウの成虫から幼虫まで何匹もいました。前羽には、色々なもようがありました。点がオレンジ色だったり、たくさん点がある仲間もいました。でも、ナナホシテントウは見つかりませんでした。

捕まえた後は、ちゃんと逃がしました。今度はちがう種類のテントウムシも見たいと思いました。（小二・YK君）

テントウムシの種類・色・模様などをとても明確に説明できましたね。K君の文章に触発され、テントウムシの幼虫を調べたら、芋虫・毛虫が苦手な私には厳しい絵でした…が勉強になりました。興味のある人は調べてみてください。K君の好奇心の旺盛さにも文章の完成度の高さにもいつも驚かされます。今回も二年生とは思えぬ出来に飛び級掲載！

ピアノの発表会

朝、発表会の場所に行くとき、むねがドキドキしていてきんちょうしました。

ぼくのひいた曲は、「マリオネット」です。とてもきんちょうして一回だけまちがえちゃったけど、ピアノの先生や、ママやパパはほめてくれてうれしかったです。

次に、れんだんで聞きたい曲があったけど、その前の曲がとてもいい曲だったので、ねてしまいました。ハッとして起きたら、聞きたい曲が終わっていて残念でした。（小四・KA君）

「ドキドキ」という擬態語を使い、演奏前の緊張感を上手に表現できましたね。素敵な曲を聴きながら夢心地だったA君の様子から、演奏後、緊張が緩んだこともよくわかります。心情の変化を見事に表現していて見習いたいですね。

お父さんとサッカー

朝、ぼくは、お父さんとサッカーの練習をしました。リフティングでは、二十三回できました。ドリブルはお父さんをはじめてぬかしました。また、お父さんとパス回しをやったら、お父さんのボールがすごくとんで、ぼくもお父さんのようにけってみました。そしたらお父さんが、

「ドンマイ、ドンマイ、あきらめるな。」

と言ってくれました。その後もいっぱい練習して、お父さんに

「よく、ここまでがんばったね。」

とほめられました。とても、うれしかったです。だから、サッカーがおもしろくなりました。（小四・SH君）

お父さんとの愛情溢れる特訓の様子を、会話文を使って生き生きと表現しましたね。サッカーがおもしろくなったことを「理由」+「感情」の形で表現しているところもお手本にしたいですね。お父さんへの尊敬・感謝など色々な気持ちが織り込まれていて、とても温かい文章に仕上がっています。

ぼくのペット

ぼくのペットはカメです。カメは二匹いて、名前はカメ太郎とカメの助です。

カメ太郎は、川でつりをしていたとき、近くにいたおじさんに、

「めだかとカメがつれたんだけどいるかい。」

と言われ、もらったカメです。

カメの助は、ぼくが学どうに行っているときに、お父さんがペットショップで買ってきました。

カメの助のこうらの大きさは、三センチ五ミリぐらいで、カメ太郎は六センチメートルぐらいです。

とてもかわいいカメたちです。これからも大切に育てていきたいです。（小四・TR君）

自分のペットを紹介するのは良いアイディアですね。題材選びの上手さに加え、それぞれのカメの説明がとてもわかりやすく上手に書けています。最後の一文をカメたちに対する愛情でまとめたところも上手いですね。

★★★上級者（五・六年生）の部★★★

足かけ回り後ろができた！

今日は、土曜参観だったので休み時間がありました。私は二週間位前から練習していた、足かけ回り後ろという技をしました。どうしても足が回った後に地面に向きません。そこで、体育が得意な友達にアドバイスなどをもらいながら練習していました。

時計を見たら残り五分。どうしてもこの時間にできるようになりたい！と思ったその時、くるっと回り、できるようになりました。

その時私は、とっても幸せな気分で、みんなも笑っていました。次は、足かけ回り前ができるようになりたいと新たな目標ができました。（小六・YAさん）

「事実」と「思い（気持ち）」が絶妙なバランスで書かれていますね。文章の強弱のつけ方も完璧です。また友達の温かい助けや眼差しも上手に描写しています。読む人をも幸せな気持ちにさせる文章です。次の目標に向かって頑張ってね！

伊藤先生のおすすめ本

★初級者★

はじめてのキャンプ

林明子 作／絵【福音館書店】

大きな子にまじり初めてのキャンプ。女の子の不安や緊張をユーモラスに描いた作品

★★中級者★★

じっぽ

たつみや章 作／広瀬弦 絵【あかね書房】

大洪水の翌日に少年が拾ったのはなんとカッパ！興味本位で飼い始めたカッパの「じっぽ」だが、だんだん弟のように思えて…

★★★上級者★★★

夏の庭

湯本香樹実 著【新潮文庫】

少年３人は、人が死ぬ瞬間を見てみたいという好奇心から町外れに住むおじいさんを見張ることにする。一方、観察されていると気づいたおじいさんは憤慨しつつも少年達の来訪を楽しみに待つようになる。ぎこちなく触れ合いながら、忘れられないひと夏の友情が生まれる。世界各国でも翻訳され、映画や舞台にもなった名作。